

JICA（国際協力機構）SDGs ビジネス支援事業 普及・実証・ビジネス化に当社提案が採択されました

当社が ASEAN 地域で目指すリニューアル事業戦略の一環として、タイ王国におけるインフラの補修事業が JICA が進める SDGs ビジネス支援事業の「案件化調査」に引き続き、「普及・実証・ビジネス化事業」においても採択されました。この支援事業は、民間企業等のビジネスを通じた開発途上国の開発課題の解決を推進しており、SDGs の開発目標のゴール 9 と 11 に貢献することを目指しています。

JICA 支援事業 概要

途上国の課題解決に貢献し得る技術・製品・ノウハウ等を活用したビジネスアイデアや ODA 事業での活用可能性の検討、ビジネスモデルの策定。

SDGs ビジネス支援事業			
	基礎調査	案件化調査	普及・実証・ ビジネス化事業
概要	基礎情報の 収集・分析 (1年程度)	技術・製品ビジネス等の活 用可能性を検討し、ビジネ スモデルの事業を策定 (数ヶ月～1年程度)	技術・製品やビジネスモ デルの検証。普及活動を通 じ、事業計画を策定 (1～3年程度)

共同参画企業：東レ株式会社、東レインターナショナル株式会社

提案事項

タイ王国における「長寿命を可能にする炭素繊維シートによるインフラ補強の普及・実証・ビジネス化事業」。

今後の展開

タイ王国では、周辺地域の発展に伴う急激な経済成長に伴い交通量の増加、通行車両の重量化による橋梁をはじめとしたインフラが急速に劣化し老朽化してきており、都市部におけるスクラップアンドビルドでの対応は、交通渋滞、大気汚染等の都市問題を引き起こし、社会的コストの増加が大きな課題となっています。

当社が長年培った炭素繊維シートによる補強技術により、早急なインフラの補修・補強を実現し、この長寿命化への課題解決の促進にもつながります。また、この技術は都市交通や空港、道路等の構造物への応用も可能で今後のニーズの広がりにも対応可能と考えており、タイ王国のみならず同様の課題を抱える周辺各国へのビジネス拡大・成長を目指していきます。

ターゲットとする SDGs（持続可能な開発目標）

・ゴール 9

強靱なインフラを整備し、包括的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る。

・ゴール 11

都市と人間の居住地を包括的、安全、強靱かつ持続可能にする。

